

爲永春水作
一勇齋國芳画



三編下

^13
3663
6

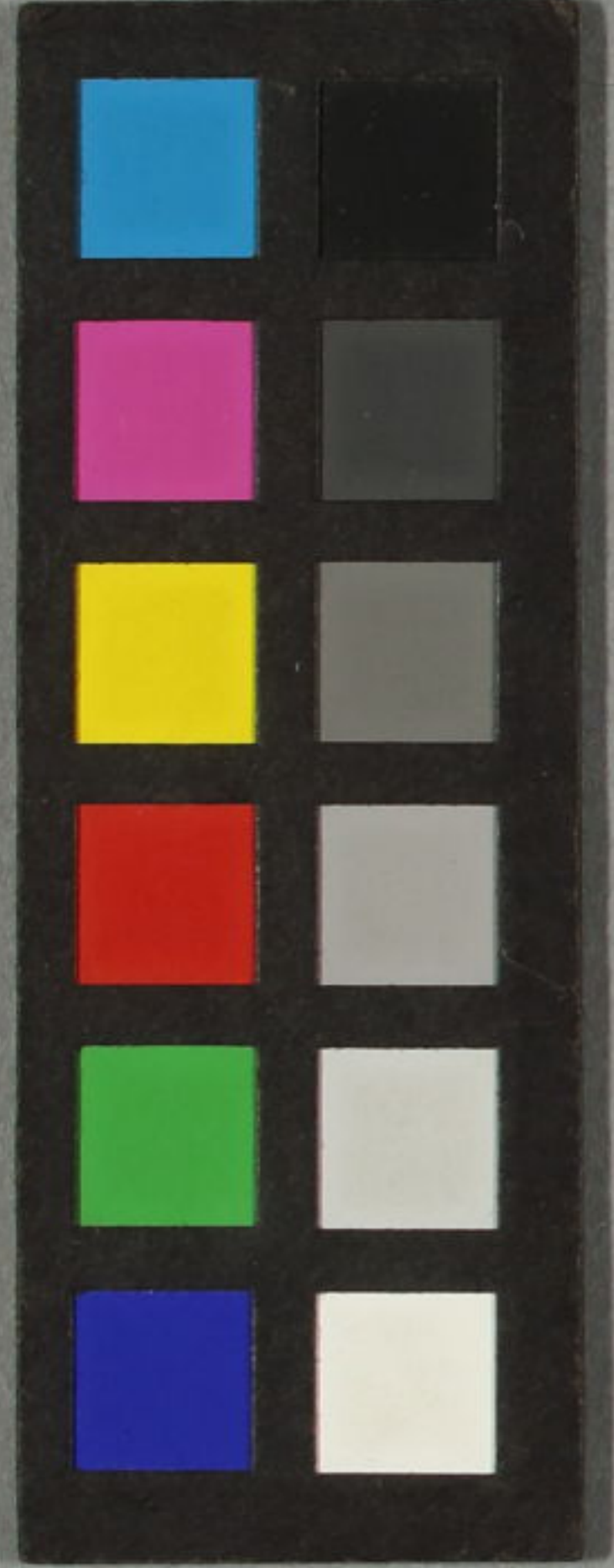
八犬傳後日譚



三編上

^13
3663
5





A13
3663
5

三編上



安房國富山の勝景



八犬傳

後白譚

東之海上

為永春水化

一勇齋國若画

栄久堂

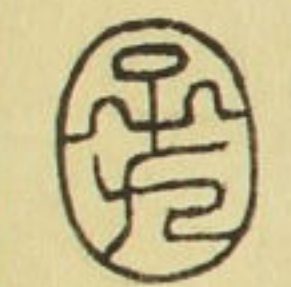
栄兌



煙草能人の機を教むは、若くも飲食蒸餌あるものなる。稗史小説も又然り。既
 小佳境入ると、読者終日めく足る。燭と兼て猶飽する。然るも正史の如く、僅か
 徒然と凌ぐの、好者として益ありて四十より。これらも作功拙あり。這前傳の下流、
 人情世態、寫さるる。忠良貞悪、判せざるは、仍て童蒙と醒まぬ。當益ととの、
 僕、這意の知るの、前傳既、終る。餘り、余波の惜まれ、那明鳥、
 ぎぬる。ねと、最一管と、引笛。拙、毫、追局。則、後日譚、を、這、二世三世の、大士
 列傳、を、編、る。首、里見、義孝、の、出身、を、終、え、と、念、ひ、の、る、前、
 稍、之、帙、の、虚、筆、を、り、渡、莫、四、編、の、大、士、の、入、の、言、も、さ、ら、る、これ、八、賢、女、と
 追、如、て、前、傳、の、多、く、薄、命、を、り、濱、路、雜、衣、を、り、後、身、と、言、腹、稿、も、り、敷、
 小、書、房、も、抜、目、を、り、七、年、中、の、四、五、編、を、毎、歳、發、販、を、り、下、の、終、義、の、何
 と、り、る、不、長、編、を、り、看、官、煙、草、の、兩、座、を、り、宜、く、叱、覽、を、り、願、を、り、と、

嘉永六歲

丑孟春吉旦



為永春水識







小委
小遇
神草
下第
第四編

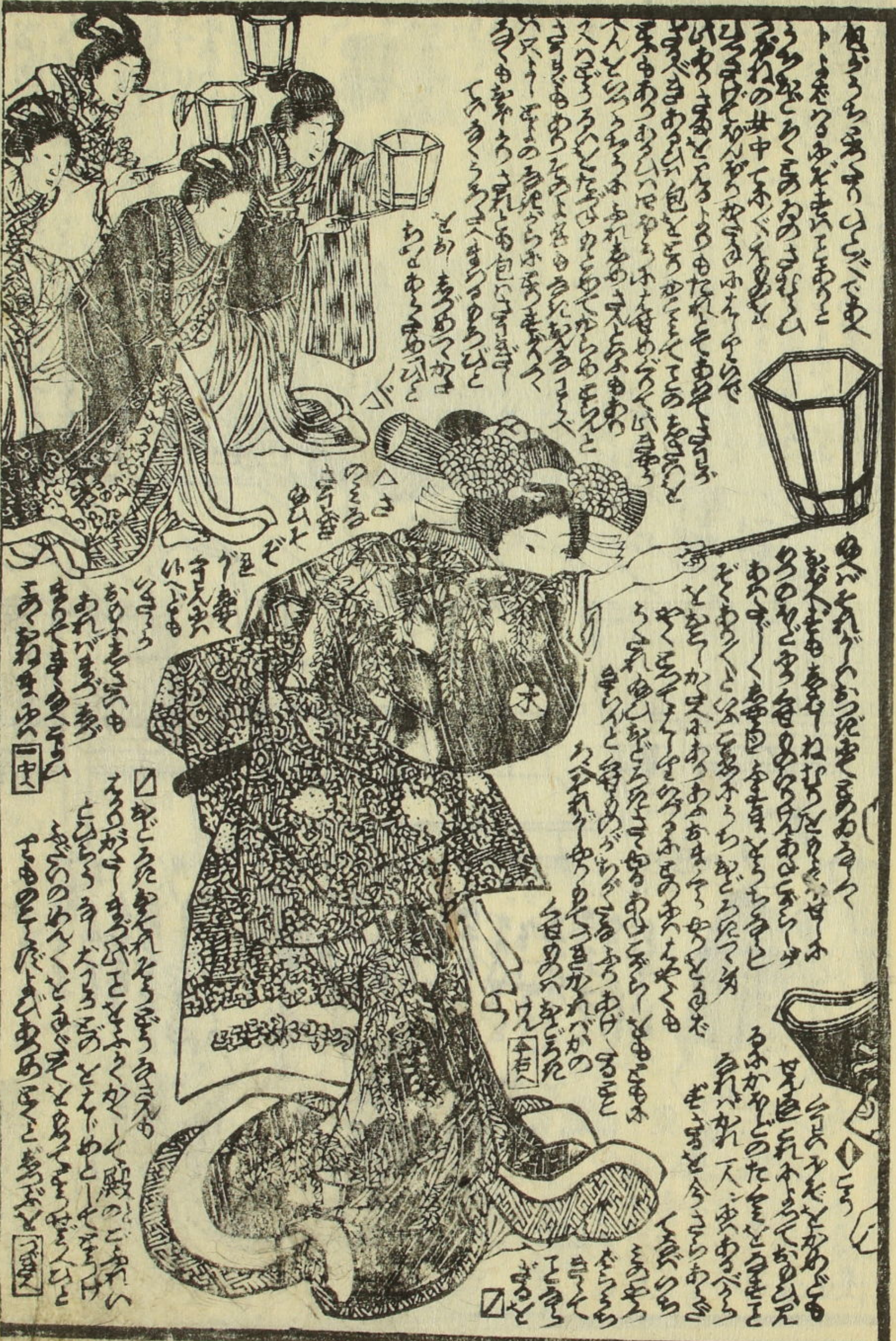
正木
佐市
守國

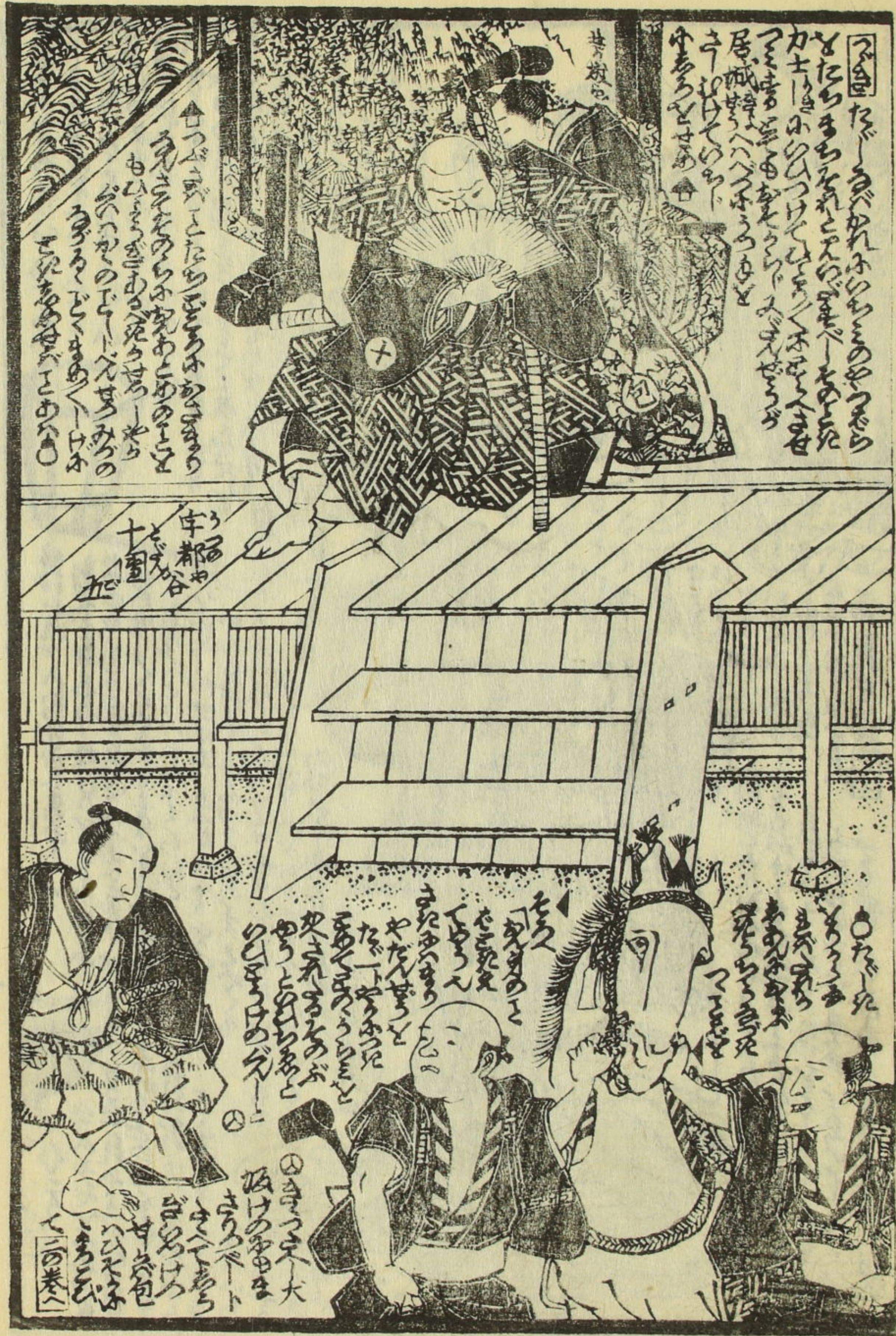
二
三



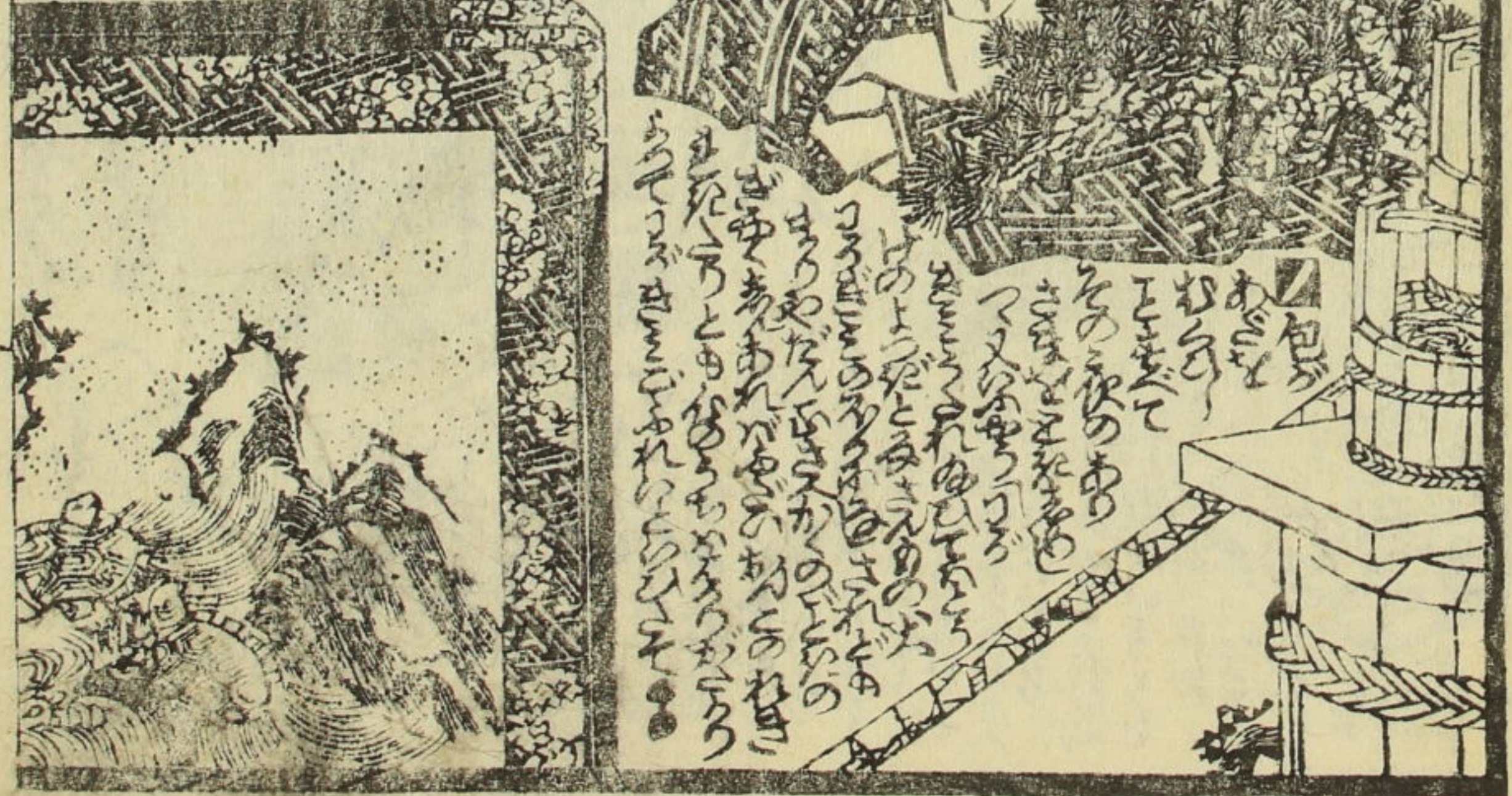
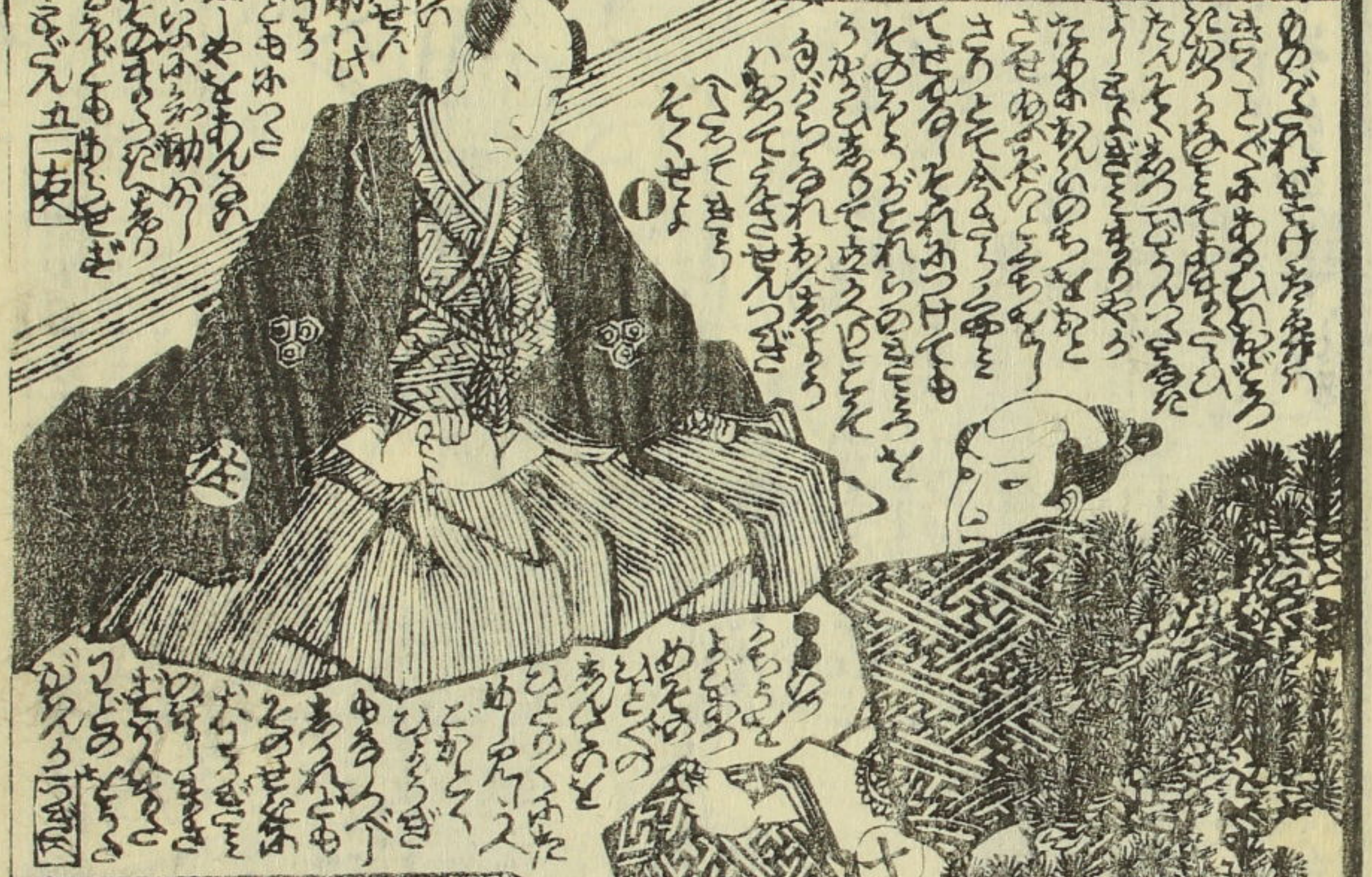
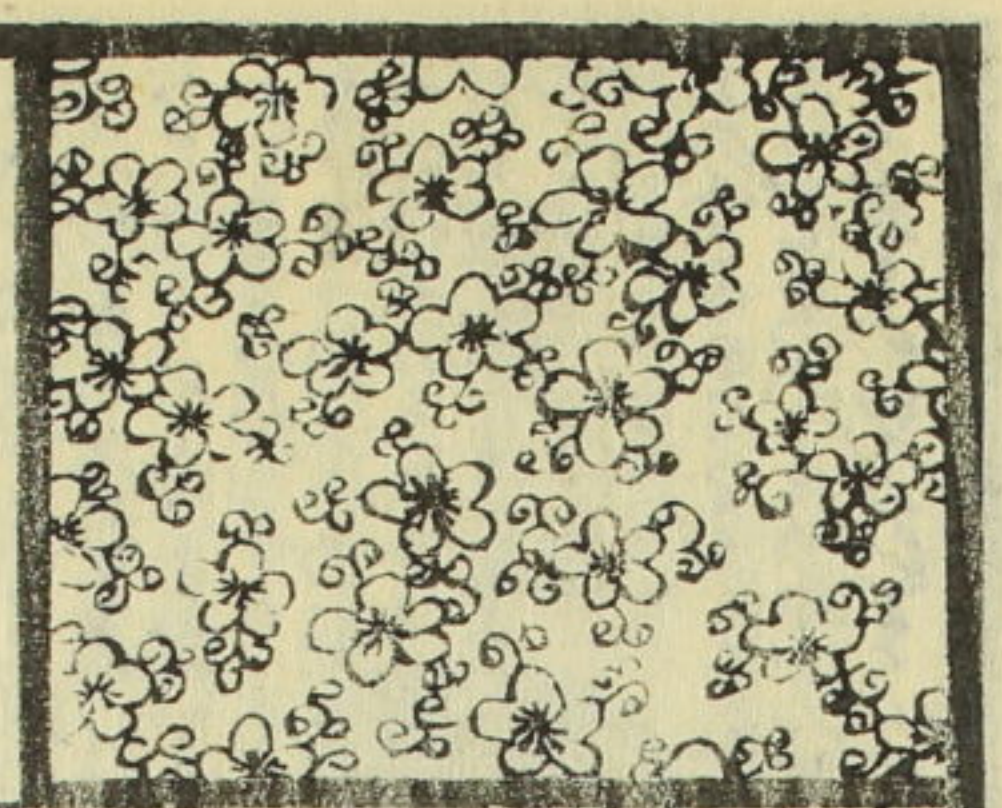
天坂
老仙

二
三





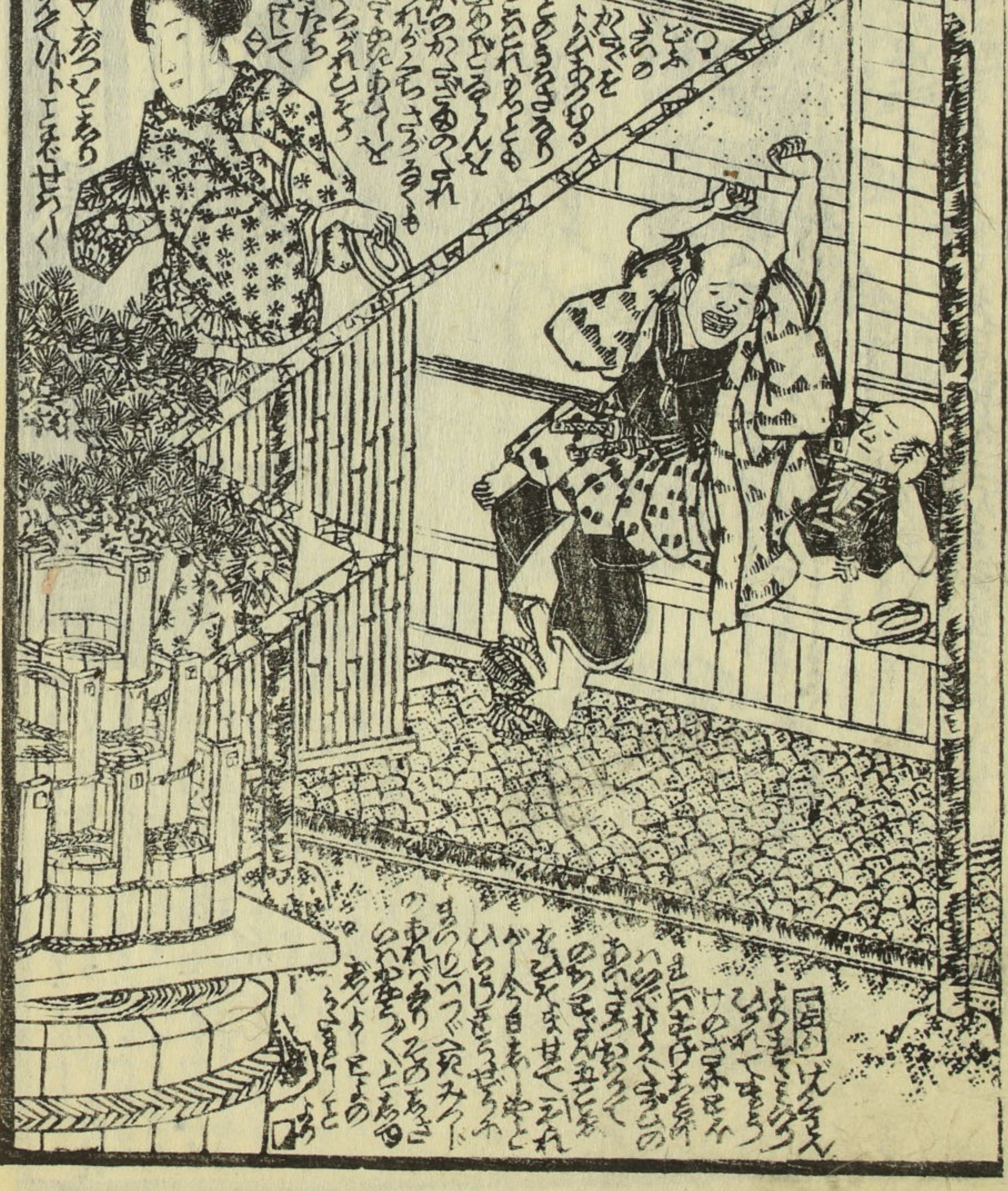
① たいまつくつめい
 ろくせうのきりぎりす
 りんごのあまのこ
 まいありんごりねど
 ろりのあまのこ
 あしあしとこの
 やさしくいれ
 ののののののの
 らんらんらんらん
 えんらんらんらん
 まのまのまの
 まのまのまの
 まのまのまの
 まのまのまの



② たいまつくつめい
 ろくせうのきりぎりす
 りんごのあまのこ
 まいありんごりねど
 ろりのあまのこ
 あしあしとこの
 やさしくいれ
 ののののののの
 らんらんらんらん
 えんらんらんらん
 まのまのまの
 まのまのまの
 まのまのまの
 まのまのまの



③ たいまつくつめい
 ろくせうのきりぎりす
 りんごのあまのこ
 まいありんごりねど
 ろりのあまのこ
 あしあしとこの
 やさしくいれ
 ののののののの
 らんらんらんらん
 えんらんらんらん
 まのまのまの
 まのまのまの
 まのまのまの
 まのまのまの



仁



禮

智



義

忠

孝



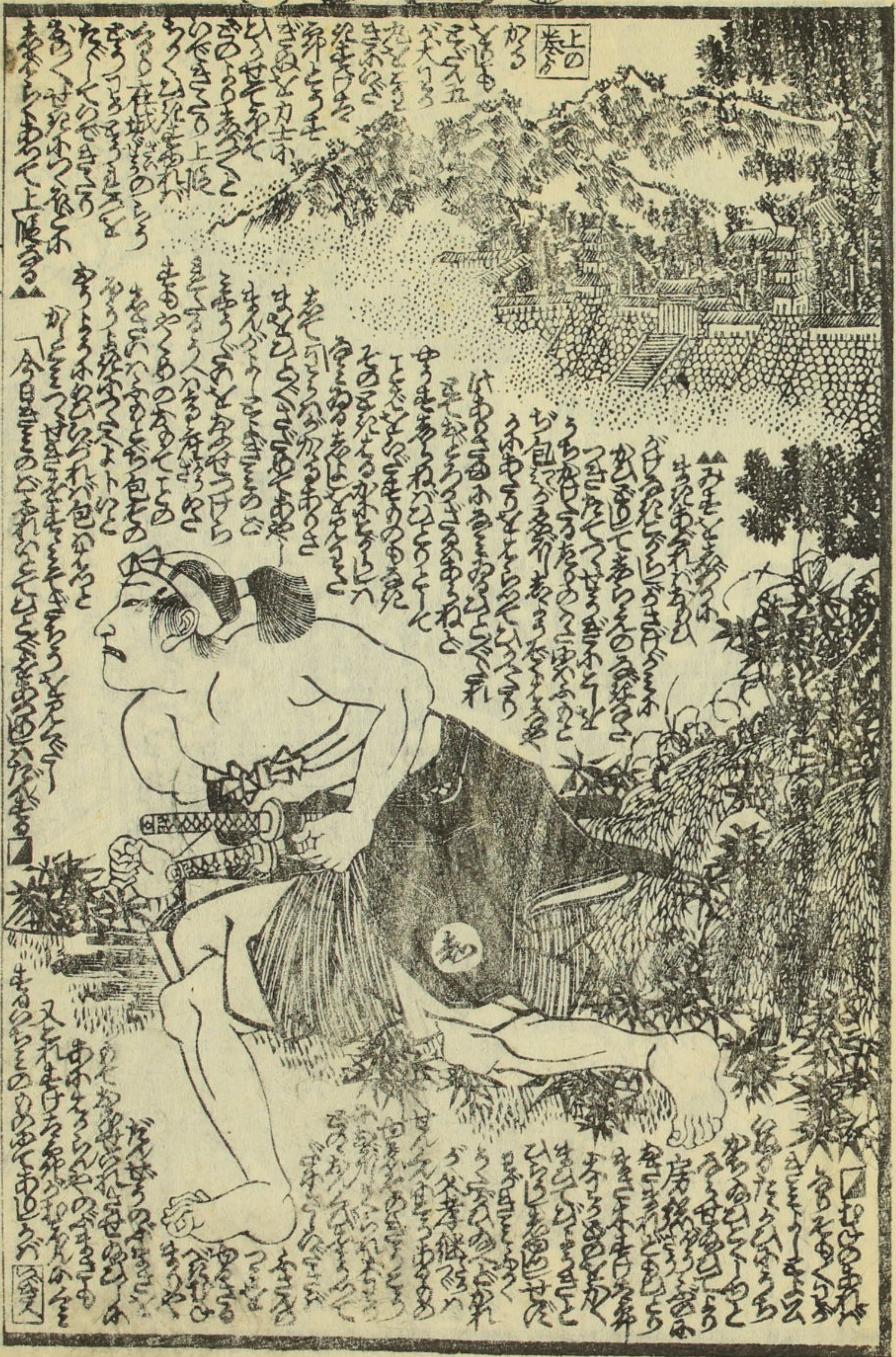
信



悌







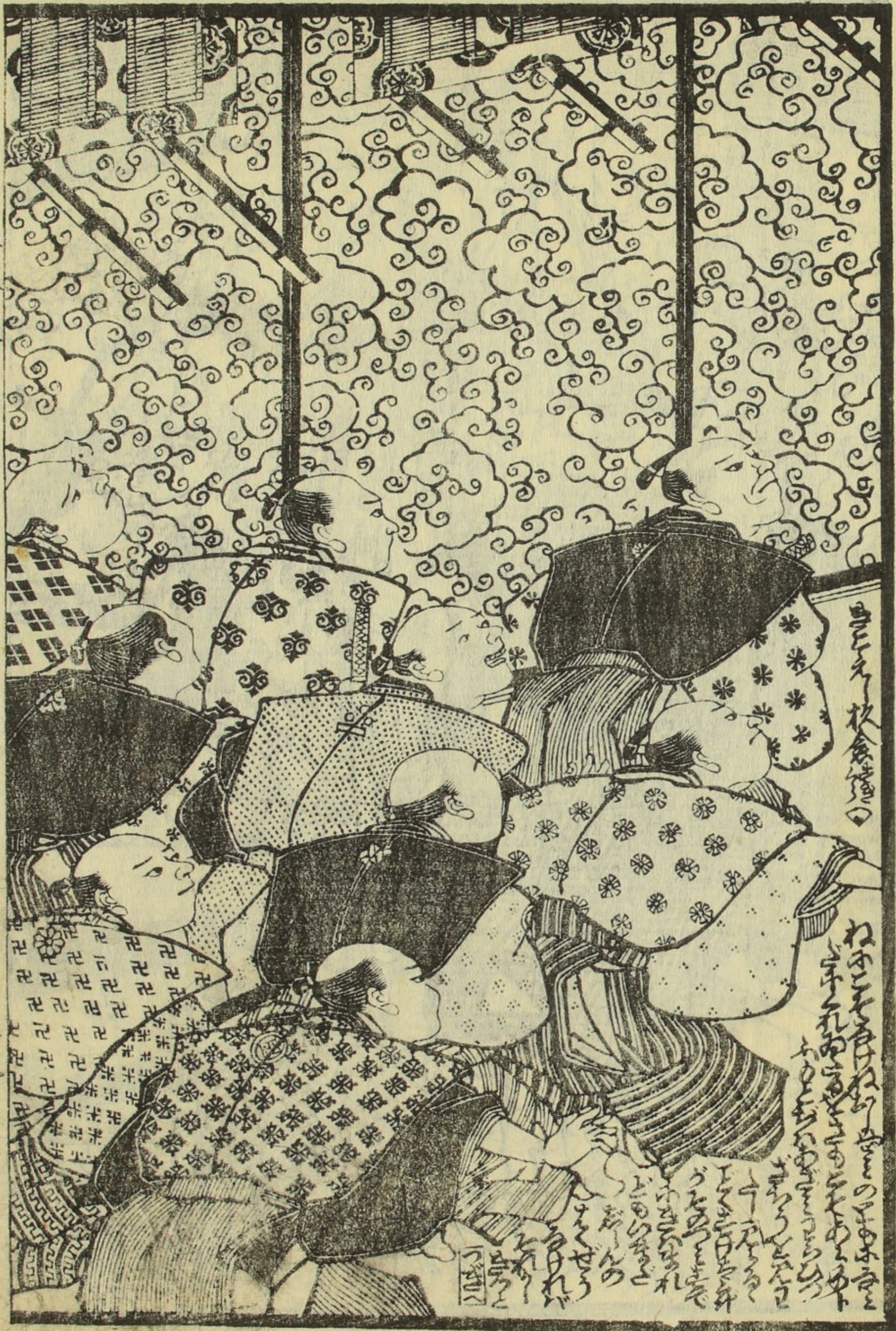
備後鞆 保命酒屋
中村吉兵衛製

女万繪画

火傳
存白
繁久堂
梅酒

繁久堂

梅酒



Handwritten text in a cursive style, likely a transcription of a speech or a narrative. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. The characters are densely packed and flow across the page, following the contours of the illustration's background.



禮



仁

智



義



信



孝

忠

悌

